

JAMS 関東地区 読書会 / 研究会のご案内

JAMS 関東地区では、大学院生や若手研究者を中心に、マレーシアおよびその近隣地域に関する様々な専門や関心をもった人が集まり、読書会と研究会を行ってきました。これまでの活動は以下の通りです(所属は発表当時のもの)。

(1)読書会

2002年4月～7月(全10回)

アリフィン・オマル『バンサ・ムラユ』(Ariffin Omar. 1993. *Bangsa Melayu: Malay Concepts of Democracy and Community 1945-1950*. Kuala Lumpur: Oxford University Press.)

2002年9月～2003年4月(全13回)

A.ミルナー『植民地期マラヤにおける政治の創造』(Anthony Milner. 1994. *The Invention of Politics in Colonial Malaya: Contesting Nationalism and the Expansion of the Public Sphere*. Cambridge: Cambridge University Press.)

(2)研究会

2002年5月17日

服部美奈(岐阜聖徳学園大学)

「イスラーム改革運動とムスリム女性の教育:インドネシア・西スマトラの事例から」

2002年5月21日

菅原由美(東京外国語大学大学院博士課程)

「オランダ植民地期ジャワにおけるイスラーム指導者とプリアイ間の対立:アフマッド・リファイ運動を事例として」

2002年6月14日

西芳実(東京大学大学院博士課程)

「独立戦争期アチェにおけるインドネシア共和国支持の意味」

2002年7月19日

國谷徹(東京大学大学院博士課程)

「19世紀末の蘭領東インドにおけるメッカ巡礼交通およびその監視体制の起源について」

2002年11月29日

猿渡真帆(東京大学大学院修士課程)

「インドネシアのコミュニティにおける伝統社会の進歩と経済発展:ギアーツを事例に」

2003年2月11日

真田季実子(中央大学4年生)

「サラワク:経済開発と熱帯林のはざままで」

2003年5月10日

Erwiza Erman(LIPI 研究員 / 名古屋大学大学院客員研究員)

Hidden Hands: Women in Mining Community in West Sumatra (1892-1966).

2003年5月30日

伊藤恵理子(東京大学大学院修士課程)

「マハティールの思想と行動:マハティールのイスラム論に関する一考察」

2003年度は以下の要領で読書会を行っています。

日時: 金曜日(月2回) 午後6時~午後8時

会場: 東京大学駒場キャンパス 8号館4階414A

テキスト: Scott, J. C. 1985. *Weapons of the Weak: Everyday Forms of Peasant Resistance*. New Haven and London: Yale University Press.

テキストの内容が自分の研究テーマと直接関係していない方でも、テキストのテーマに関心があればお気軽にご参加ください。

また、研究会も随時開催します。読書会・研究会ともに、日時等はJAMSメーリングリストでご案内します。

【問い合わせ先】

JAMS 関東地区委員 西尾寛治